に就き又世界平和に就いて私共の深く抱いて居る信念に相應しい程の信頼ある歡迎を受けることの出来るやうに切望してやまない次第であります。

國際勞働局長

アルベール・トーマ

228

124

横須賀海軍工廠横廠工友会に就て。

昨年来横須賀海軍工廠に於て主に共済を目的とせる横廠工友会は、昨夏国際労働代表選出の場合に労働団体として認可を社会局に要求したものであるが、以後再び国際労働会議代表選出に於ける政府の処置にみるところあり、最近屢々幹部会を開いて協議中である様であったが、遂にまとまり[illegible]、横須賀署長を通し内務大臣宛労働団体としての認可を申請して来た。

それには工友会の規約を改正し、労働条件の維持及改善との一項を[illegible]の外、同会の研究範囲は廠内といふ外め、労働資本家殊に局長等の人々を除き、一般の労働団体たらしめたいと希望せられたが、当局が此の認可の